

平成30年度 第2回 野方警察署協議会 議事概要

開催日時 平成30年10月12日 午前10時15分～午後00時05分

開催場所 4階「講堂」 出席者 協議会委員 9名  
署長ほか 2名

内 容

[業務説明]

- 1 警察署協議会からの意見要望等の取組結果について  
前回会議で出された、「夏期における街頭防犯活動を効果的に推進してほしい。」旨の要望
  - (1) 街頭活動・パトロール強化による地域住民の安全安心の確保について  
街頭活動を強化し、各町会との合同パトロールを実施するなど、効果的な活動を行った。
  - (2) 子ども及び女性を特定の被害から守る対策の強化推進について  
ア 小学校通学路の見守り活動を学校、PTA、町会等と連携して実施した。また、8月から9月にかけて管内の全小学校に対し、中野区、学校、PTA等と一体となった通学路緊急点検を行い、不審者情報の共有、交通事故防止、震災時の危険箇所把握など、安全な通学路の確保に努めた。  
イ ラジオ体操会場での防犯講話、駅頭防犯キャンペーンなどあらゆる機会を通じ、多くの子どもや女性に対し広報啓発、チラシ配布など効果的な防犯対策を行った。
  - (3) 特殊詐欺、空き巣被害等の指定重点犯罪対策の効果的推進について  
ふれあい連絡協議会、町会等への地域における防犯活動協力依頼、高齢者参加の防犯講話における注意喚起、無人ATMへの立寄り警戒等の各種対策を行った。
- 2 交通事故発生状況について  
昨年同時期と比べ、人身及び物件事故とも増加しており、依然として自転車の関与率が高いことから、違反を看過することなく指導取締りを推進している。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容  
「特殊詐欺根絶に向けた総合対策の推進」
  - (1) 高齢者及びその家族に対する広報啓発活動の実施
  - (2) 無人ATM対策等による未然防止と検挙活動の実施
 以上の説明を行った上、更なる取組のあり方について意見を求めた。
- 2 警察署協議会からの意見要望等
  - (1) ふれあいポリスによる各種会合への出張講座を開催してほしい。
  - (2) シルバーローラー作戦による高齢者世帯への訪問を継続し、広報啓発、注意喚起の活動を行ってほしい。
  - (3) 金融機関、コンビニエンスストアとの更なる連携強化をし、未然防止対策を強化してほしい。

[その他の意見要望等]

- 1 委員から「町会では毎朝通学時の見守り活動を行っている。この時間帯は建設業者が狭い道路に車両を止め、許可時間前から作業を始めている場合があり、午前9時から作業スタートとなるよう建設業者への指導、アドバイスを行ってほしい。」との要望があった。署長から「周辺への安全を配慮し、業者にしっかり指導し、とれる対策をとっていきたい。」旨説明した。
- 2 委員から「早朝ラジオ体操での防犯講話など、色々な活動をしていただきありがたい。一人ひとりが防犯意識を高める必要がある。高齢者は電話を信じてしまうので、留守番電話の設置が必要。」との意見があった。
- 3 委員から「業務説明で色々な防犯活動等が紹介された。野方署からもっと一般に活動を広報すれば更に活動の輪が広がるのではないか。」との意見があった。署長から「交番新聞では一部活動を紹介している。自らの活動はPRしづらい面があるが、今後検討していきたい。」旨説明した。
- 4 委員から「防犯パトロールの防犯カメラ設置の効果で、犯罪が減少している実感がある。携帯電話へのメールに、不審者情報の着信がほとんどなくなった。これからも対策を進めてほしい。」との意見があった。

- 5 委員から「先日ATMでお金を下ろした際、警察官が警戒していた。とても心強かった。」との感想があった。
- 6 委員から「自転車の交通違反は、傘差し走行などが以前より減っていると感じられ、改善されているが、イヤホン装着走行はまだ多い。」との意見があった。
- 7 委員から「歩行者もイヤホンを装着しながら歩いている場合があり、近づかないと気が付かないことがある。女性の場合、痴漢被害へのリスクも高くなるので注意が必要ではないか。」との意見があった。署長から「危険であることへの注意喚起を行っていきたい。」旨説明した。

その他

平成30年度第3回会議は、12月開催予定

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

平成30年度 第1回 野方警察署協議会 議事概要

開催日時 平成30年07月02日 午後03時40分～午後05時25分

開催場所 野方警察署 4階講堂  
出席者 協議会委員 9名  
署長ほか 2名

内容

[業務説明]

- 1 協議会からの意見要望等の取組結果について  
前回会議で出された
  - (1) 高齢者事故防止と歩行者・自転車交通マナーの向上について  
ア 中野ランニングフェスタ、各町会活動、高齢者に対する交通安全講習会、沼袋ぼたん祭り等の参加者に対し、広報啓発活動を行った。  
イ 前回の会議以降、管内の小中学校、幼稚園等において、新入学児童や保護者に対する交通安全教室を32回開催し、大きな成果が得られた。
  - (2) 悪質ドライバーに対する交通違反の取締りについて  
幹線道路でのトラック、二輪車ストップ作戦、自転車キャンペーン等を行い、重大事故防止に向けた広報啓発活動及び指導取締りを行った。
  - (3) 春の全国交通安全運動の効果的推進について  
ア 親子で学ぶ交通安全2018での体験型イベント、桜まつりパレードでの沿道における広報啓発活動など、期間中は官民挙げての運動を推進した。  
イ 飲酒運転根絶キャンペーンでは、飲食店に対して、運転手に酒類を提供しない様に要請した。  
以上について説明した。
- 2 平成29年中の110番受理状況について  
当署の110番受理件数について説明し、引き続き有事即応体制により、事案によっては早期臨場による現場検挙に努める旨を説明した。
- 3 交通事故発生状況について  
交通物件事故及び交通人身事故ともに昨年と比べ増加している旨を説明した。
- 4 指定重点犯罪発生状況について  
特殊詐欺及び性犯罪が昨年と比べ増加している旨を説明した。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容  
「夏期における街頭防犯活動の強化推進」
  - (1) 街頭活動・パトロール強化による地域住民の安全安心の確保
  - (2) 子ども及び女性を特有の被害から守る対策の強化推進
  - (3) 特殊詐欺、空き巣被害等指定重点犯罪対策の効果的推進
 以上の説明を行った上、更なる取組のあり方について意見を求めた。
- 2 警察署協議会からの意見要望等
  - (1) 警察官による街頭活動では、特に子どもや女性、過去の被害発生場所や発生時間帯を絞ったパトロールを実施してほしい。
  - (2) 交番勤務員等による巡回連絡時、世帯構成に合った防犯資料配布と各種説明を行ってほしい。
  - (3) 警察、学校PTA、地域(町会、自治会)、事業所(商店、コンビニ)、自治体と連携した情報交換と防犯活動を行ってほしい。

[その他の意見要望等]

- 1 委員から「無人ATM警戒では、ふれあいポリス以外にも制服警察官が警戒し、地域の人に安心感を与えてくれて、大変有り難かった。」と感謝がなされた。
- 2 委員から「若い女性の歩きスマホや自転車乗車時のヘッドフォン使用は注意力を低下させるので指導警告が必要だと思う。交通ルールを守らない歩行者、自転車利用者が多いように思う。」との意見があった。
- 3 委員から「環状七号線沿いやコンビニエンスストア前での駐車や、その他の地域のスーパーマーケット前での駐車は、渋滞や事故の原因になるので指導取締りを行ってほしい。」との要望があった。
- 4 委員から「朝夕の時間帯は、抜け道となる道路でスピードを上げる車両が目立ち、危

険なので取り締まってほしい。」との要望があった。

- 5 委員から「外国人観光客の増加に伴い、レンタサイクルやレンタルゴーカートによる事故が増えるおそれがあり、今から対策が必要ではないか。」との意見があった。
- 6 委員から「飲酒運転根絶運動を推進するため、居酒屋でのハンドルキーパーには警察から専用のコースターを提供し運動を推進したらどうか。」との意見があった。
- 7 委員から「引き続き幼稚園や小学校の児童、保護者に対する安全教室及び悪質ドライバーに対する指導取締りを行ってほしい。」との要望があった。
- 8 委員から「先日、近所のお年寄りを見掛けないことで心配になり、警察官を要請しようと思ったが、110番だとどうしても躊躇してしまう。」との意見があった。署長から「皆さん110番だと大事になると考えがちになる。そうした場合には署へ直接の電話でも構いません。」と説明した。
- 9 委員から「子どもの見守りについて、学校の登下校時だけでなく、子ども達は学校が終わったあと夕方まで公園で遊ぶのでパトロールしてほしい。」との意見要望があった。
- 10 委員から「交番の警察官が行う巡回連絡の際、住民は色々なことを要望したり相談したいと思っているので、対応してあげてほしい。」との意見があった。
- 11 委員から「侵入窃盗被害に関しては、被害に遭わないと他人事になってしまうのではないか。施錠等の防犯対策、意識を高めていくことが大切だと思う。」との意見があった。

その他

平成30年度第2回会議は、9月開催予定

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

平成29年度 第4回 野方警察署協議会 議事概要

開催日時 平成30年03月15日 午後02時05分～午後03時55分

開催場所 野方警察署 4階講堂  
出席者 協議会委員 8名  
署長ほか 3名

内容

会議に先立ち、交通課長の出席について各委員から了承を得た。

[業務説明]

- 1 取締り活動ガイドラインの見直しについて  
交通課長から、取締り活動活動ガイドラインの趣旨、活動方針、留意事項、現行の取締りの重点路線等の説明を行った。
- 2 協議会からの意見要望等の取組結果について  
前回会議で出された
  - (1) 振り込め詐欺被害防止に向けた各種対策の実施について
    - ア ATM対策では、これまでの発生状況を検証し、実際に被害に遭ったり誘導された場所を駐留警戒し、注意喚起や広報啓発活動を行った。
    - イ 委員から意見のあった高齢者宅への戸別訪問は、2月20日から交番勤務員による特別巡回連絡を行い、被害に遭わないための具体的対策を推進中である。
    - ウ メディア利用による広報啓発活動では、1月のJ-COM中野のテレビ年賀状の放映や、1月24日無人ATM警戒中、4件の還付金詐欺被害を未然防止した内容が新聞に掲載され、大きな効果を得た。
  - (2) 高齢者に対する交通事故防止対策の推進
    - ア 町会やイベントでの防犯講話、交通安全教室を通じた広報活動で、3月14日現在89名の方が運転免許を自主返納している。
    - イ あらゆる活動を通じ、高齢者への靴のかかと「反射材ハリハリ作戦」を継続し、交通事故に遭わない対策を行っている。  
以上について説明した。
- 3 交通事故発生状況等について  
今年に入り重傷事故が3件発生し、全件自転車の関与した事故であるため、交通違反指導取締りを推進中である旨説明した。
- 4 指定重点犯罪発生状況について  
街頭活動の強化により、侵入窃盗は大幅に減少している旨説明した。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容  
「高齢者事故防止総合対策の推進」
  - (1) 高齢者事故防止と歩行者・自転車交通マナーの向上
  - (2) 悪質交通ドライバーに対する交通違反の取締り
  - (3) 春の全国交通安全運動の効果的推進  
について説明し、更なる取組のあり方等について意見等を求めた。
- 2 警察署協議会からの意見要望等
  - (1) について
    - ア 町会や自治会、老人会等の各種行事で、高齢者にも分かりやすい広報啓発活動を推進してほしい。
    - イ 歩行者・自転車交通マナー向上については、現場での指導の徹底と、学校や保護者会での効果的なタイミングを捉えた指導を徹底してほしい。
  - (2) について  
特に、交差点信号無視、一時停止違反の取締りと速度超過、飲酒運転、薬物を摂取しての運転の取締りを徹底してほしい。
  - (3) について  
町会、自治会、業界団体などと官民挙げての運動を推進してほしい。

[その他の意見要望等]

- 1 委員から「取締り活動ガイドラインの見直しについては、説明のとおり取り組んでほしい。」とのことであった。
- 2 委員から「駐車監視員の資格、活動」に関する質問があり、交通課長から「監視員の講習を受け、警備会社に就職している。2名一組をユニットとし、ガイドラインに沿っ

た活動を行っている。」旨の説明を行った。

- 3 委員から「駐車監視員は重点路線のみの活動か。」との質問があり、交通課長から重点路線以外でも、悪質性、危険性、迷惑性が極めて高い違反は対応している。」旨の説明を行った。
- 4 委員から「以前と比べ駐車はかなり減り、とても走りやすくなった。これからも対策をお願いしたい。」との意見があった。
- 5 委員から「ATM見守り隊は何人いるのか。」との質問あり、署長から「現在37名に委嘱している。協力して活動の幅を広げていきたい。」と説明した。
- 6 委員から「これまで高齢者宅戸別訪問による広報啓発活動、交通事故防止対策など、委員の意見要望に応え、警察の活動に反映されて感謝している。これからも継続的にお願いしたい。」との感謝の言葉があった。
- 7 委員から「雨の日の自転車傘差し運転は減った。若い母親の電動自転車マナー違反が多いと思う。」との意見があり、交通課長から「個人のマナー向上が大切であるので、繰り返し指導警告を行っていく。」旨説明した。
- 8 委員から「自転車の無灯火が多いので注意してほしい。」との意見があった。
- 9 委員から「新入学児童や母親への安全教育は、入学準備の日に行うと参加者が多いと思う。また、入学式、学芸会、運動会などの日に行うのも効果的だと思う。」との意見があった。
- 10 委員から「新入学児童のお祝いに両親を呼んで安全教育を行っている。ふれあいポリスや駐在所勤務員の他に、野方署のキャラクター『のが太くん』の派遣は可能か。」との質問があり、署長から「『ピーボくん』『のが太くん』参加による安全教育はとても効果的なので、是非派遣要請してほしい。」旨説明した。

その他

平成30年度第1回会議は、6月開催予定

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

平成29年度 第3回 野方警察署協議会 議事概要

開催日時 平成29年12月19日 午後03時35分～午後05時20分

開催場所 野方警察署 4階講堂  
出席者 協議会委員 8名  
署長ほか 2名

内容

会議に先立ち、会長から12月6日に開催された第四方面区内代表者会議開催結果について説明があり、委員に対して情報共有を行った。

[業務説明]

- 1 協議会からの意見要望等の取組結果について
  - (1) 平成29年度第2回会議において出された「少年が犯罪に巻き込まれないよう対策を講じていただきたい。」旨の要望については、中学生等に対する薬物乱用防止教室やセーフティ教室を開催し、視聴覚教養、ライオンズクラブの講演、少年係員による犯罪被害の具体的事例を挙げ、啓発活動を行った。
  - (2) 特殊詐欺被害防止対策では、各種イベント、町会行事等あらゆる機会を通じ、署員が一丸となり高齢者から孫世代者に対して、最近の犯罪手口、対処方法など説明し、広報啓発活動を行った。
  - (3) ATM対策では、年金支給日、通常の活動を通じ立寄り警戒を行い、注意喚起、広報啓発活動を行った。また、年末の警戒強化中に、アポ電後に現金を振り込もうとした高齢者に対し、被害未然防止を図り大きな成果があった。
- 2 交通事故発生状況について  
交通人身事故の約半数は自転車が関与しており、交通違反は見過ごすことなく、警告指導取締り、町会等と協力した諸対策を推進している。
- 3 指定重点犯罪発生状況について  
都民の身近で起こり得る悪質な犯罪に対し、パトロールの強化、防犯カメラの設置等街ぐるみの対策を行い、安全安心の確保、住み良い街づくりに努めていく。
- 4 特殊詐欺発生状況について  
現在まで管内において47件の被害が発生していることから、危機的状況下にあります。防犯講話、広報啓発活動等の対策を強化、ATM見守り隊とも協力し、高齢者への積極的声掛けを行った。  
また、不審な電話を端緒としただまされたふり作戦等により、10名を逮捕しています。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容  
「高齢者を当事者とする事件事故防止対策の推進」
  - (1) 振り込め詐欺防止に向けた高齢者宅への個別訪問、各種キャンペーンによる広報啓発活動、金融機関や町会等と協力した各種対策の実施
  - (2) 高齢者交通事故防止に向けた広報啓発、安全教育、交通違反の指導取締りによる、事故に遭わない、事故を起こさせない対策の実施
- 2 警察署協議会からの意見要望等
  - (1) について
    - ア ふれあいポリス、交番勤務員をはじめ全署員及びATM見守り隊による警戒活動と広報啓発活動を行っていただきたい。
    - イ 高齢者宅への個別訪問と訪問後の電話による注意喚起活動をお願いしたい。
    - ウ テレビ等メディアを活用した広報啓発活動をお願いしたい。
  - (2) について
    - ア 町会、老人会等を通じた運転免許自主返納制度のPR活動を行っていただきたい。
    - イ 交通ルール違反者への指導と悪質な違反者の取締りの徹底していただきたい。

[その他の意見要望等]

- 1 委員から「振り込め詐欺グループのアジト」に関する質問があった。  
署長から「アジト発見に向け管内の実態把握に努め、不動産業者へ協力を依頼するなど、情報収集を行っている。これまでに他署管内所在のアジトを捜索し、グループを摘発、成果を挙げている。」旨の説明を行った。
- 2 委員から「実家に私を騙った電話があった。犯人は色々な手口で高齢者を安心させ、犯行に及んでいる。」との意見があった。
- 3 委員から「最近のオレオレ詐欺の手口について」質問があった。  
署長から「受け子に現金やキャッシュカードの手交、ATMであれば還付金詐欺が依然として多い。」旨を説明した。

- 4 委員から「ふれあいポリスの防犯活動は街に浸透している。オレンジの服も親しみやすい。他の警察官もジャンパーなどを作って活動してはどうか。」との意見があった。
- 5 委員から「自転車のマナー違反として、特に若い母親の電動自転車のマナーが良くないと思う。交通マナーを守るよう教育してほしい。」との意見要望があった。
- 6 委員から「2020年にオリンピックが開催されるが、外国人による犯罪が懸念される。語学のできる警察官が必要になるのではないか。」との意見があった。  
署長から「署員の中には語学のできる者が何人かいる。育成の必要は感じているが、全ての言語には対応できない。警視庁には通訳センターという部署があり、活用が可能である。」と説明した。

その他

第4回会議は、平成30年3月開催予定

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。



平成29年度 第2回 野方警察署協議会 議事概要

開催日時 平成29年10月12日 午後02時15分～午後03時55分

開催場所 野方警察署4階講堂  
出席者 協議会委員 7名  
署長ほか 2名

内容

[前回の答申等に対する警察署の取組結果]

防災意識の高揚と防災訓練の効果的推進

- 1 あらゆる機会を捉えた防災意識の高揚と情報の発信  
駅前、各町会、四季の森公園等でのイベントにおいて、普段の備え、自助共助等の防災広報啓発活動を行った。
- 2 学生ボランティア等への取り組み推進  
管内の留学生国際寮において、防災訓練、通訳ボランティア募集への呼び掛けを行った。
- 3 各種防災訓練の効果的推進  
親子サバイバルキャンプ、官民一体となった中野区総合防災訓練では、防災広報や各種訓練を実施し、防災意識の高揚を図ることができた。

[業務報告]

- 1 交通事故発生状況  
現在まで交通人身事故は186件(重傷2名、軽傷208名)発生しています。引き続き、指導取締り等の諸対策を推進している。
- 2 指定重点犯罪発生状況  
昨年比で、特殊詐欺と自動車盗が増加した。地域の安全安心確保に向け、パトロールを強化、街ぐるみの対策を行っている。
- 3 特殊詐欺被害発生状況  
39件発生し、依然として息子や孫を騙ったオレオレ詐欺が多くなっている。

[諮問]

特殊詐欺被害防止対策の推進

- 1 町会、関係機関と連携した効果的な広報啓発活動の実施
- 2 高齢者を被害者とするオレオレ詐欺被害防止対策の実施

[答申]

- 1 少年への防犯講話等犯罪に巻き込まれない対策の実施  
委員から「今の若者は、いいアルバイトがあるとわれ、結果的に犯罪に加担してしまう。学校での防犯講話を通じ、犯罪に巻き込まれないようにしてほしい。」との意見があった。
- 2 署員一丸となった広報啓発活動の実施  
委員から「ふれあいポリス、署員が一丸となった地道な広報啓発活動を行っていただきたい。」との意見があった。
- 3 ATM見守り対策の強化推進  
委員から「ATM見守り隊以外にも、一般の方が高齢者などに声掛けしやすい活動ができればいいと思う。」との意見があった。

[意見・要望等]

- 1 委員から「オレオレ詐欺の被害に遭わないためには、電話に出ないことが一番だと思う。その場で判断しないよう広報してほしい。」「電話に出ると相手のペースにはまってしまう。自分から相手に息子や孫の名前を言っただけではダメ」との意見があった。  
署長から「電話に出ると、親心スイッチが入ってしまいオフにならない。本当の息子に確認するところが大切です。」と説明した。
- 2 委員から「犯人は次の手口を使い、イタチごっこの感がある。本当の息子に連絡がつかないと振り込んでしまうかもしれない。母親には普段留守電にしておくよう言っている。」との意見があった。  
署長から「ふれあいポリスなど、あらゆる機会を通じ広報啓発活動を行っている。これからも繰り返し対策を行っていく。」旨を説明した。
- 3 委員から「近所の方が騙されそうになった。直ぐに警察官が来てくれ心強かった」との感想があった。
- 4 委員から「この前、車を購入するために銀行にお金を下ろしに行くと、行員から注意喚起された。」との話があり、署長から「銀行には注意喚起とホットライン活用をお願いしている。」ことを説明した。

その他

平成29年度第3回会議は、12月開催予定

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

平成29年度 第1回 野方警察署協議会 議事概要

開催日時 平成29年07月11日 午後04時05分～午後05時50分

開催場所 野方警察署4階講堂  
出席者 協議会委員 9名  
署長ほか 3名

内容

- 1 会議に先立ち会長、副会長を選出した。
- 2 委員に対し、管内の概要、署の体制を説明した。

【前回の答申等に対する警察署の取組結果】

- 1 交通事故防止総合対策の推進
  - (1) 親子で学ぶ交通安全2017、幼稚園での園児及び保護者への安全教育、警視庁騎馬隊による乗馬体験を実施し効果を上げた。
  - (2) 小学校新入児童安全教室、自転車安全利用街頭キャンペーン等、場所・時間を変えた効果的な事故防止対策を実施した。
  - (3) 自転車ストップ作戦、ゲートボール大会において、若者及び高齢者への自転車マナー向上等、継続的な対策を行った。
- 2 振り込み詐欺被害防止対策の強化推進
  - (1) 高齢者への対策継続のほか、スーパー来店者の家族、孫世代等への視点を変えた特殊詐欺防止広報啓発活動を実施した。
  - (2) ATM見守り隊委嘱式では、ケーブルテレビ、新聞社が取材に応え、放映及び掲載がなされ、媒体を活用した広報啓発活動を行うことができた。

【業務報告】

- 1 交通事故発生状況  
自転車の重傷事故が発生し、対策を推進中です。
- 2 指定重点犯罪発生状況  
侵入窃盗を大幅に減少させることができました。
- 3 特殊詐欺被害発生状況  
24件発生、高齢者家族に対する対策を推進中です。
- 4 駐車監視員活動ガイドライン  
ホームページ掲載資料に基づき、説明を行いました。
- 5 交通違反重点取締り場所  
ホームページ掲載資料に基づき、説明を行いました。

【諮問】

防災意識の高揚と防災訓練の効果的推進について

【答申】

- 1 あらゆる機会を捉えた防災意識の高揚と情報の発信
- 2 学生ボランティア等への取組み推進
- 3 各種防災訓練の効果的推進  
地域住民への広報啓発や情報発信、各種防災訓練はとても重要で、治安にも影響するので、効果的に推進していただきたい。

【意見・要望等】

《業務報告に対する意見・要望等》

- 1 委員から「昔は犯罪発生に対する検挙活動が主だったが、今は予防に向けた住民広報、教育に重点を置き、警察は頑張っている。」旨の意見があった。
- 2 委員から「一時不停止や音楽イヤホンをしての自転車が多数。引き続き、きめ細かな取組みによりマナー向上を図ってほしい。」との意見があった。
- 3 委員から「交通キャンペーンは、場所や時間を変え、具体的内容で良かった。」との感想があった。
- 4 委員から「色々な対策を早急に対応してくれている。幼稚園、小学校、母親に対する交通キャンペーンは良かった。」との意見があった。
- 5 委員から「金融機関での高齢者高額引き出し通報では、警察が事情を聞くことで話もスムーズにでき、とても良いと思う。」との感想があった。
- 6 委員から「近所の理容室と美容室に振り込み詐欺被害防止のチラシを置いてもらった。」「高齢者が利用する場所への備付けは有効だと思う。」との意見があった。

《諮問に対する意見・要望等》

- 1 委員から「災害時、各町会や中学生など頼りになると思う。」との意見があった。
- 2 委員から「住民の防災意識には差がある。警察が関わりすぎると助け合うことを住民は忘れるので、危機感を持たせることも重要だと思う。」との意見があった。
- 3 委員から「町会が行う防災訓練で、警察の後押しをお願いしたい。」との意見があった。
- 4 委員から「住民の防災訓練参加は難しい面がある。」「職場にはAEDがあり、地域への貢献もしていきたい。」との協力申出があった。
- 5 委員から「今後も、災害時に住民が役割を持ち、訓練に参加していけるよう呼び掛けていきたい。」との意見があった。
- 6 委員から「当社には防災マニュアルがあり、地域における救助活動に協力していきたい。」との申出があった。
- 7 委員から「当社には食糧などが備蓄され、帰宅困難者対策を行うことができ、自助共助はまかなえる。」「今回、改めて中野区のことを考えるきっかけになった。」との意見及び感想があった。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

平成28年度 第4回 野方警察署協議会 議事概要

開催日時 平成29年03月17日 午後03時45分～午後05時10分

開催場所 当署4階講堂  
出席者 協議会委員 8名  
署長ほか 2名

内容

[前回の答申等に対する警察署の取組結果]

- 自転車に対するマナー向上と交通事故防止対策
- 1 管内の小学校において、新入学を迎える保護者説明会で母親に対する安全教育を実施し、子供に対し家庭で繰り返し教育を行うよう啓発活動を行った。
  - 2 児童、保護者が参加した交通安全大会、自転車教室等において、交通ルールの教育や正しい横断の体験、シュミレータ活用など、効果的対策を行った。
  - 3 公園付近に駐車禁止のステッカー設置で子供飛び出し時の事故防止、一方通行出口での「止まれ」補助標識設置による道路環境整備で、自転車事故防止対策を図った。
  - 4 自転車マナー違反者に対する指導警告、高齢者や幼児への反射材貼付活動等、適時適切なきめ細かな指導取締りを行った。
  - 5 その他交通に関する取組みとして、ウェルカムけいしちょう、イベントを通じた広報啓発活動、ふれあいポリスによる通学路早朝見守りの継続などの諸対策を実施した。

[業務報告]

- 1 交通事故発生状況  
過去2年間を比較すると、物件及び人身事故全体で微増となった。引き続き関係協力団体、町会と連携した諸対策を推進していきたい。
- 2 指定重点犯罪発生状況  
指定7罪種中6罪種で減少させた。街ぐるみの対策を継続していきたい。
- 3 特殊詐欺被害発生状況  
今年に入り13件、約760万円の被害が発生している。中でも息子や孫を騙ったオレオレ詐欺が目立っている。

[諮問]

- 1 交通事故防止総合対策の推進
- 2 振り込め詐欺被害防止対策の強化推進

[答申]

- 1 交通事故防止総合対策の推進
  - (1) 保育園・幼稚園に対する子供及び保護者への安全教育の実施
  - (2) キャンペーンの場所・時間を変えた効果的交通事故防止対策
  - (3) 若者への継続指導取締りと高齢者の自転車対策
- 2 振り込め詐欺被害防止対策の強化推進
  - (1) 家族、孫世代等へ視点を変えた特殊詐欺防止対策
  - (2) テレビ等メディア媒体を活用した広報啓発活動

[意見・要望等]

- 1 委員から「交通事故防止対策では、新たな取組みがなされ良かった。」との感想があった。
- 2 委員から「視覚に訴えた、スピードを上げにくくする路面表示はできないものか。」また、「路面のペイントが薄くなっている場所があるので改善してほしい。」との要望があった。
- 3 委員から「自転車通行帯を増やしてほしい。」「止まれの赤色路面表示設置はとても良かった。」との意見があった。
- 4 委員から「交通マナーは、小さいころからの教育が大切だと思う。親への教育も必要なので、幼稚園入園説明会でも安全教育を行ってほしい。」との意見があった。
- 5 委員から「自転車飛び出し防止の『危ない止まれ』標識設置はとても良い。我々でも取り付けられるか。」との質問があり、署長から「補助標識の一部であり、警察に任せてほしい。」旨を説明した。
- 6 委員から「母親の自転車マナーが悪いので指導してほしい。」との意見があった。
- 7 委員から「高齢者の自転車乗車を見ていると危ない面がある。高齢者への自転車マナー向上が必要だと思う。」との意見があった。
- 8 委員から「自転車対策では、注意喚起、チラシ配布、自治会への対策、時間や場所を変えた対策をお願いしたい。」との要望があった。
- 9 委員から「振り込め詐欺を知らない人はいないが騙される。高齢者への対策以外にも身内への注意喚起が必要ではないか。」との意見があった。
- 10 委員から「振り込め詐欺対策では場所を限定したり、一人暮らしの高齢者を対象とするなど、視点を変えた対策が効果的ではないか。」との意見があった。
- 11 委員から「銀行での高齢者現金引き下ろしでは、警察への通報体制と警察官の対応はとても良い。これからも継続してほしい。」また、他の委員からは「銀行によって対応が違わないようにしてほしい。」との要望があった。
- 12 委員から「振り込め詐欺対策では、ケーブルテレビ等媒体を活用した対策が効果的だと思う。」との意見があった。

その他

平成29年度第1回会議は6月開催予定

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

平成28年度 第3回 野方警察署協議会 議事概要

開催日時 平成28年12月13日 午後03時05分～午後05時25分

開催場所 4階 講堂  
出席者 協議会委員 8名  
署長ほか 3名

内容

[前回の答申等に対する警察署の取組結果]

- 災害対策について
- 管内における災害危険箇所等の調査を行い、地震による倒壊危険箇所等61箇所を新たに把握、被害発生時の迅速な対応を図りたい。
  - 第2回会議以降、中野区合同防災訓練、宿泊防災訓練、幼稚園避難訓練、帰宅困難者訓練等のほか、各種訓練を実施した。
  - 訓練等の際、災害関係のパンフレット等を配布し、3日分の食糧、飲料水、ヘルメット、懐中電灯、ラジオ、ホイッスル等必要な物を準備するよう広報啓発活動を行った。
  - 停電を想定した交差点での手信号交通整理訓練、発動発電機等の装備資器材操作訓練を4日間実施した。
  - なかのまちづくり協議会、中野区防災計画会議、避難場所代替施設管理者対策等を通じて管理者対策、申し入れ等を行い、官民一体となった防災意識の高い中野区、災害に強い町づくりを目指し、各種対策を推進した。
  - ふれあいポリスによる防災分野への参加で、中野区、町会、地域住民に対する効果的な訓練、広報啓発活動ができた。

[業務報告]

- 指定重点犯罪発生状況  
1月30日現在、昨年同期でマイナス22件で、強盗のみが増えた。  
各町会等のパトロール、住民の防犯意識向上、街頭防犯カメラ設置等、街ぐるみの対策が功を奏した。
- 交通事故発生状況  
第2回会議以降、自転車単独の死亡事故が発生した。事故全体では物件事が増えている。
- 特殊詐欺被害発生状況  
12月5日現在、発生27件、被害額は6,646万3,280円

[諮問]

自転車に対するマナー向上と交通事故防止対策

[答申]

- 自転車のマナー違反は社会問題であり、地域全体で取り組む必要がある。
- 学校における自転車ルール、マナー指導及び安全教育の充実
  - 子供、保護者参加型による交通マナーの向上
  - 道路環境整備による交通事故防止対策
  - 警察官のきめ細かな指導取締り

[意見・要望等]

- 委員から「災害対策における優先順位を知りたい。」との質問があり、「まずは人命救助を最優先とするので、普段から3日分の食糧等を準備してほしい。助けられる命を優先する。」旨を回答した。
- 委員から「災害時に高校生のボランティアは力になる。避難場所での活動では町会も協力する。」旨の申し出があった。また、危険箇所の正確な把握の要望があった。
- 委員から「全国的に高齢者の運転操作ミスの事故が多いが、野方署管内の事故発生のどうか。」と質問があり、当署での発生はない旨を説明した。
- 委員から「自転車マナー違反を見たら、見てみぬ振りをせず、必ず注意してほしい。また、雨の日の傘差し運転など、重点を絞った指導も大切だと思う。」との意見があった。
- 委員から「自転車の乗り方マナー、幼児へのリーフレット配布、親に対する教育も必要ではないか。」との意見があった。
- 委員から「ふれあいポリスの増員要望に対し、すぐに対応してくれて有難うございました。」との発言があった。
- 委員から「雨の日に警察官が踏切に駐留し、自転車マナー違反を注意していた。警察官の注意はとても心に残るので、必ず注意を与えることが大切だと思う。」と意見があった。
- 委員から「自転車の乗り方は、皆が分かっているようで分からない。言わないでいると理解しないままなので、地域でも注意していきたい。」との協力申し出があった。
- 委員から「自転車教室への父母の見学や参加が効果的だと思う。地道な活動が親への教育にもなる。」との意見があった。
- 委員から「公園周辺などで交通事故防止や車両のスピードを自動的に緩めるような道路構造、路面表示ができないか。」との質問があり、「これまでナビマーク表示で効果が出ている。事故防止対策等、他の方法も検討していく。」旨を回答した。

その他

次回第4回会議は、平成29年3月開催予定

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。